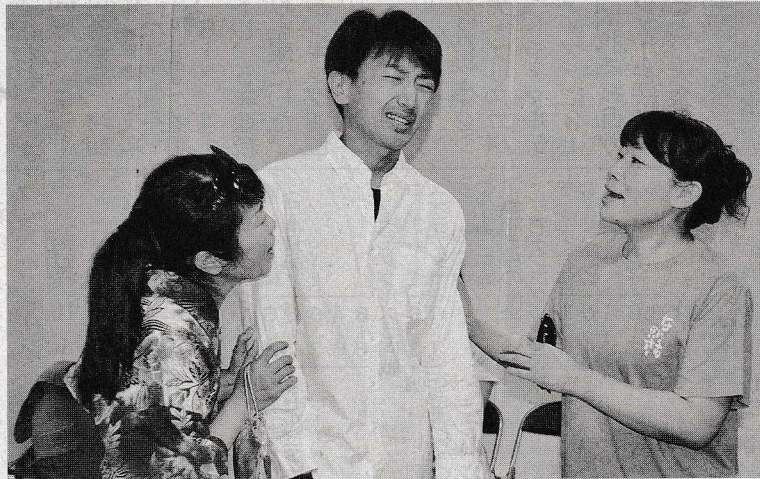


# 昭和の名脚本家 演劇に

## 6日から阿佐谷 白坂さんの人生描く

映画が庶民の娯楽の中心だった昭和三十年代に活躍した名脚本家、故白坂依志夫(よしお)さんを題材とした演劇「夢の果(はたけ)〜映画脚本家、文壇のドンに挑む〜」が、東京・阿佐谷で上演される。仲代達矢主演の「野獣死すべし」(一九五九年)など多彩な作品と奔放な生活ぶりで知られるが、白坂さんの人生を舞台化した作品は初めてという。



(五十住和樹)

白坂さんは東京都出身で父親の八住利雄さんも脚本家。三島由紀夫や寺山修司、大江健三郎さんや石原慎太郎さんなど同世代の若手文化人らと幅広く付き合い、プレーボーイとしても名をはせた。市川崑監督の「東京オリンピック」(六五年)の共同脚本にも名前を連ねた。

今回の舞台の脚本は、二〇一五年に白坂さんが八十二歳で亡くなるまで晩年の身の回りの世話をした、静岡市在住のシナリオ作家二

けいこを重ねる出演者たち―東京都大田区で

シモトマキさん(五七)が書いた。ニシモトさんは、戦争孤児を描き続けた作家故西村滋さんの長女で、白坂さんとは約三十年前に知り合い、白坂さんの脚本教室で学ぶなど交流を深め、執筆アシスタントを務めるなどした。

「世間をあっと言わせないと意味ないよ」。映画作りの裏話や人間関係などを直接聞かされていたニシモトさんは、勢いと希望のある時代を走り続けた白坂さんを「書きたいという思いが強くなるまで」と話した。自分が書かねばという思いもあった」と話す。

舞台化するのには、西村滋作品を上演し続けている東京の演劇ユニット「チーム・クレセント」。主宰の片山美穂さん(五〇)は「平和や非戦といった西村滋さんの思いも、作品の中で継承することができた」と話す。白坂さんの作品を特集上映する企画を行い、西村滋

作品の上映もした東京都杉並区の映画館「ラピュタ阿佐ヶ谷」の地下にある小劇場「ザムザ阿佐谷」で、六

### 同窓会 県人会 情報

◇旧都立王子工業高校昭和40年卒業3Cクラス会 9日13時〜16時、「日本海庄や八重洲店」。会費5000円。問い合わせは、松田さん☎090(25569)5143へ。

◇旧都立池袋商業高校昭和44年卒9組(小松先生クラス)卒業50周年クラス会 29日13時〜16時、がんこ新宿山野愛子邸。会費6000円。問い合わせは、小山さん☎090(69935)4871へ。

◇栃木県立日光高校第13回卒業「祝喜寿」同窓会 7月2日15時〜3日(1泊2日)、大江戸温泉物語・日光霧降。会費1万4000円。3日「明治の館」で昼食(2000円)。申し込みは6月

日〜十日に上演する。問い合わせはチーム・クレセント☎070(6470)0384。

10日まで。問い合わせは、齋藤日出世さん☎0289(65)5420へ。

◇早稲田実業学校旧中・高部等昭和36年卒同期会 7月13日13時、アルカディア市ヶ谷。会費1万円。ご健在の長澤先生及び岩田先生も参加。今回は最後となる。申し込みは6月14日まで。問い合わせは、吉田さん☎043(294)7626へ。

◆ ◆ 大学、小中高校の同窓会や県人会などの開催情報を募集します。出欠回答締め切りの一週間前までに、学校やクラスなど対象者が分かる同窓会・県人会名、日時、開催場所(会場と住所)、幹事さんの氏名、問い合わせ電話番号を明記の上「東京新聞同窓会・県人会情報宛て」にファクスでお申し込みください。掲載前に当社から確認の電話をかけます。ファクスは03(3595)6920。

## メトロポリタン

### 首都圏日誌

この春、埼玉県と沖縄県をつなぐ心温まる出来事が相次ぎました。

埼玉県越谷市では、住宅火災で逃げ遅れた少女を、沖縄から遊びに来ていた男

### さいたま支局から

子高生が救出。那覇市では、別の島への帰郷のための飛行機代をなくして困っていた地元男子高生に、埼玉の男性医師がお金を渡し、後に再会しました。

さいたま市では、沖縄の基地問題を考える市民が活動を始めています。遠く離れた両県ですが、実は身近な存在なのだ改めて気付かされています。(清)

2019.6.1

ご意見募集  
FAX 03(3595)7085  
Eメール syutoken@tokyo-np.co.jp

## キャンパス インフォメーション

東京女子大

公開講演会「浮世絵とジャポニスム」 13日

“忘れてはならない悲劇”を、若きロヒンギャ難民の若者が演劇という手段を用

た第2部では慶応大大学院商学研究科の鶴光太郎教授が「働き方改革と生産性向上の両立を目指して」をテーマに講演を行う。参加無料で事前申し込み不要。◎成城大経済研究所☎03(3482)9187